

## きほくで働くまちな人探訪



しば ゆうき  
芝 勇樹 さん

1月10日、東京都で「令和元年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰式典」が行われ、町内で働く芝勇樹さんが受章しました。これは、優れた技術と経験を持ち、担当する現場や部署で作業の安全を確保して優良な成績を挙げた職長に贈られるもの。芝さんは「一生で1回あるかないかの名誉なこと。自分にとっても会社にとっても嬉しい」と、笑みを浮かべます。この世界に入って22年目の芝さん。「現場に立って重機を操縦し、自分た

ちが手掛けたものが後世に残っていく」ことに喜びを感じながら、日々汗を流しています。20年ほど前には、高速道路の工事を手掛けたそうで、「そこを通るたびに懐かしい」と、目を細めます。

そんな芝さんが常に心がけていること、それは「安全第一」。これまで、重機との接触や高所作業中の事故など、幾度となく危険な場面に遭遇してきたという芝さん。そんな経験と社長の教えから、会社での朝のミーティングのみならず、各現場でも「安全第一」を仲間と呼びかけながら仕事に励んでいます。

現在、西日本豪雨災害で被災した現場を手掛けることも多く、作業をしながら「自主防災や地域の連携」の大切さを実感しているという芝さん。「これまで以上に隣近所とのコミュニケーションを密にし、万が一に備えたい」と話していました。

建設業の評価は点数制であり、80点以上が他の模範となる工事であるそう。「80点以上がもらえるように、まずは仲間とともに安全に気を付けながら、住民の皆さんの安心安全を守るような美しい工事をしていきたい」と、正義感と思いやりにあふれた芝さんの姿がありました。

### 北宇和病院 だより

### 地域連携室 について

当院の地域連携室は、地域の保健・医療・介護・福祉の各機関との連携を行い、より良い医療環境の提供と患者様・ご家族が安心して地域で生活できるよう支援を行っています。

地域連携室には、看護師1名・社会福祉士1名が配属されています。入院された患者様が、安心して地域で暮らせるよう、ご本人やご家族の意向に沿って、関係機関やケアマネージャーの方たちと連携し、院内の医師・看護師・理学療法士・作業療法士・栄養士等と協力して、患者様の退院後の生活をサポートしています。

医療機関や行政・福祉機関との連携を推進し、患者様一人ひとりが、必要かつ適正な医療福祉を継続的に受けることで、病気によって生じるさまざまな不安・困りごとを少しでも軽減し、安心安全な生活を送ることができるよう支援させていただきます。



地域連携室より

### 編集後記

▼私は鬼北町が誕生した年に、広見中学校を卒業しました。「そりや歳もとるわ」と、広報誌を見返しながら、その年の思い出や出来事を懐かしく感じていました。この15年間で振り返ってみると、多くのことを経験させてもらったりと、いろんな出会いがあったりと、自分の人生にとって貴重な15年間だったと思います。先日、大相撲初場所千秋楽で初優勝された徳勝龍関の言葉にならい、「もう30歳ではなく、まだ30歳」と思っていて、これからもさまざまなことに挑戦し、充実した人生を歩んでいきたいと思えます。(悠)

### 今月の1枚



近永、さくら保育所の園児で「鬼のパンツ」を大合唱